

清瀬市の学校教育・生涯学習の「今」をお伝えする情報誌

子供が育つ市民が育つまちも育つ清瀬の教育

教育委員会だより

Kiyose

きよせ

50号

平成29年(2017年)
3月1日発行



特集

「第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン
基本構想」が策定されました



ピックアップ記事

「清瀬のうちおり」が重要有形民俗文化財に指定されました(3ページ)

清瀬の活躍する子供たち(4ページ)

教育委員会表彰式・「清瀬の100冊」読書感想文コンテスト表彰式(5ページ)

第8回石田波郷俳句大会(6ページ)



第2次

清瀬市教育総合計画マスタープラン基本構想を策定しました。

このたび清瀬市教育委員会は、平成29年度から平成37年度までの9年間の計画期間とする、清瀬市教育総合計画マスタープランを策定しました。

この計画は、社会総がかりで子供たちを一層賢く、豊かに育てるとともに、市民の皆さんが学び合い、支え合うことで、生き生きと活力に満ちた生涯を送ることができるまちづくりを、教育の側面から実現していこうとするものです。

策定までの経緯

第2次清瀬市教育総合計画マスタープランは、帝京大学中田正弘教授を委員長とし、市内小中学校の校長、保護者の代表、市内各種団体の代表、公募市民を含む17名の委員で構成された検討委員会によって、合計6回の検討を重ね、昨年10月に教育長へ答申され、12月の教育委員会定例会で決定しました。

基本理念と5つの柱

基本理念:子供が育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

基本理念には、市民が相互に教え合い伝え合う「学びと育ちの循環型社会」^{※1}によって、子供も市民も一層豊かに学び、暮らすことができる「都市格が高い清瀬のまち」を実現していこうとする願いが込められています。

基本理念のもとに「生涯学習」「家庭教育」「学校教育」「郷土の自然・文化」と、それらをつなぎ、支える「地域コミュニティ」で構成される5つの柱によって、今後9年間の清瀬が目指す教育のあり方を示しています。これらの柱には合計16の「柱を実現するための方向性」が示され、具体的な施策が展開されていきます。詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。

※1都市を一個の人間に例えた場合の「人格」に相当するもの。

ワークショップの様子



学びと育ちの循環型社会のイメージ図

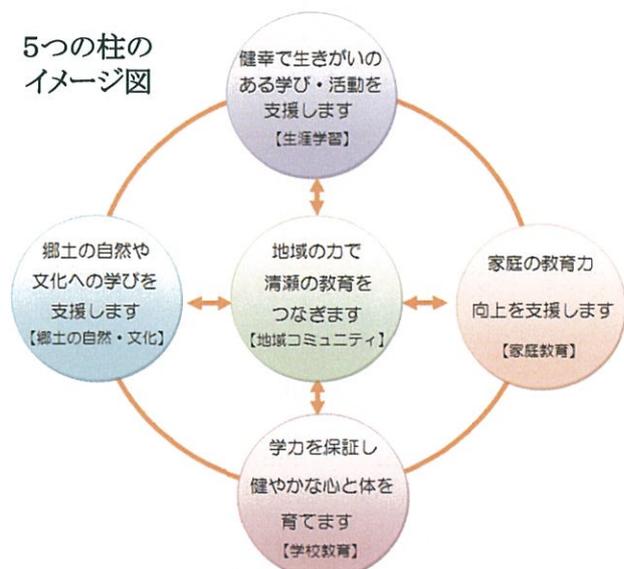


清瀬市教育委員会のホームページは右のQRコードからスマートフォンなどでアクセスできます。

※詳しくは教育総務課まで☎497-2537



5つの柱のイメージ図



「清瀬のうちおり」が重要有形民俗文化財に指定されました。

「清瀬のうちおり」は、清瀬市及び周辺地域の人々によって、自家用として用いられた「着物」と「布地」です。

清瀬市では平成16年から市民団体を中心に収集、整理した資料を平成17年と平成18年の2回にわたって「清瀬市及び周辺地域のうちおり衣料」として清瀬市有形民俗文化財として指定しています。

「衣生活」の重要有形民俗文化財

現在、博物館に保管収蔵されているうちおりは市内の59家の方々から寄贈を受けた約590点ですが、今回この中から着物を中心とした469点が、重要有形民俗文化財として国からの指定を受けました。



重要有形民俗文化財は平成29年1月現在、国内の217件が指定されており、都内では9件目の指定となります。「衣生活」として重要有形民俗文化財となっているものは「津軽・南部のさしこ着物」、「庄内の仕事着コレクション」など仕事着や作業着が主なもので、「清瀬のうちおり」のような生活に密着した普段着はなく、洋服が普及する以前の衣生活や、養蚕や織物を行った多摩地域の家庭の衣料事情を知ることができ、我が国の衣生活の変遷を考える上で重要なものとされました。



郷土博物館
マスコットキャラクター
ひいらぎちゃん

うちおりの歴史

うちおりの製作年代は、明治後期から昭和20年代のものが中心で、絹と綿を主な素材としています。いずれも日常生活で使われたもので、普段着や晴着として着用された長着を中心に、羽織、半纏、チャン

チャンコ、短着、襦袢、帯などの他に、衣類の繕いに用いられた裂、原料の糸などが収集されています。これらのものは、農家の女性たちが家族や自分のために屑繭や賃機の残糸などを用いて織った布や購入した布地によって仕立てた着物です。柄や色合いなどから明治、大正、昭和の流行をうかがうこともできます。また着古された衣類の布地を再利用して手袋、足袋、小物類を作ったり、衣類の繕いをしたりするなど、うちおりが最後まで大切に使われていたことがわかります。

現在、展示は行っていませんが、10月頃に企画展を行う予定です。また、周辺地域の織物研究の一助となるように調査・公開を行っていく予定です。



※詳しくは郷土博物館まで☎493-8585

～清瀬の活躍する子供たち～

理科や算数が好きな子供たちの力をいっそう伸ばしていくことを目指した「東京都小学生科学展」が、1月13日～16日に、日本科学未来館で開催され、清瀬市からは清瀬第七小学校 松本海人さん（6年）の研究「生活に役立つ？ 高吸収ポリマー」が出展されました。この研究発表について、松本さんにお話を聞いてみました。

Q. 今回の研究テーマを選んだ理由を教えてください。

A. 去年の夏休みに、弟が高吸収ポリマーで芳香剤を作りました。それを見て、色々な液体を吸収させたらどんなふうになるのか試してみたくて選びました。

Q. 研究を進めるにあたって何が大変でしたか。

A. 研究に使った油や墨汁が手について扱いにくいことや、正確に比較するために吸収させる液体の量を均等にすることが大変でした。

Q. 今後取り組んでみたい研究や調べてみたいことはありますか。

A. 油や牛乳などの液体をこぼしたときに、吸い取らせて、ほうきなどで集めて捨てられるものがあれば便利だと思うので、どんな液体も吸い取れるような高吸収ポリマーが作れないか研究してみたいです。



かいと
松本海人さん

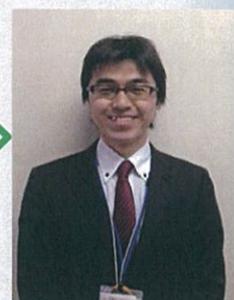
※詳しくは指導課まで ☎497-2552

第6回

突撃インタビュー

清瀬の素敵な先生たち

清瀬の小中学校の素敵な先生たちを紹介していきます。第6回は清瀬小学校の宇津木啓介先生です。



宇津木啓介 先生

どのような仕事を担当していますか？

校内では、5・6年生の外国語活動の授業を担当しています。また、清瀬市の英語教育推進リーダーとして、平成32年度の学習指導要領改訂に向けて、清瀬市の小学校の先生方に外国語活動や教科英語の授業を行う際のアドバイスをしています。

児童と関わるときに大切にしていることは何ですか？

子供に全力で当たることを大切にしています。子供の本気には大人も本気で対応すべき。子供たちをないがしろにしたりせず、できることをできるだけやってあげたいと思っています。

平成28年6月から3か月間、アメリカに英語指導の研修に行ったときのことで印象に残っていることは何ですか？

アメリカでは、先生が毎年同じ学年を担当するような契約になっていることに驚きました。例えば3年生の先生は毎年ずっと3年生だけを受け持つと聞きました。また、多種・多様な人種の方たちが、みんなで互いを尊重しながら学習している姿がとても印象に残っています。

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

平成28年度清瀬市教育委員会表彰式、 平成28年度「清瀬の100冊」読書感想文 コンテスト表彰式が開催されました。

平成29年2月15日(水)、健康センターにおいて、二つの表彰式が開催され、受賞された方々は、晴れやかな表情で賞状を受け取りました。

清瀬市教育委員会表彰式

清瀬市教育委員会表彰は、清瀬市の教育及びスポーツ、文化の振興発展に貢献し、その功績が顕著な方や模範となる優秀な成績をおさめた方を表彰するものです。今年度は19名3団体(下表)の方々が受賞されました。

(敬称略)

被表彰者	表彰要件	被表彰者	表彰要件
鈴木 權人(清瀬第三小学校・5年)	科学部門	森本 文殊(清瀬第四小学校・5年)	その他部門(体操)
秋田 拓斗(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	荒井 白雲香(清瀬第二中学校・2年)	その他部門(少林寺拳法)
江崎 圭輝(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	高橋 千聖(清瀬第三中学校・1年)	その他部門(少林寺拳法)
大野 匠(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	西ノ村 孔南(清瀬中学校・1年)	その他部門(少林寺拳法)
小川 隼人(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	星野 真琴(清瀬第三中学校・3年)	小中学校9年間皆勤
田鹿 樹(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	東京都立清瀬高等学校少林寺拳法部	スポーツ部門(少林寺拳法)
前田 拓巳(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	荒井 英俊	その他部門(少林寺拳法)
本宮 翔太(清瀬第五中学校・3年)	善行部門	島澤 良次	その他部門(少林寺拳法)
小澤 未来(清瀬第五中学校・1年)	善行部門	公益社団法人東京都親友会	その他部門(教育環境の整備に貢献)
木下 春奈(清瀬第五中学校・1年)	善行部門	せせらぎ探検隊(清瀬第四小学校地区)	その他部門(学校支援ボランティア)
山田 倫太郎(清瀬第二中学校・1年)	スポーツ部門(テニス)		
土橋 星哉(清瀬第二中学校・1年)	芸術文化部門(民謡・三味線)		



表彰式終了後の受賞者の皆さん

表彰式の様子(小学校低学年の部)



※詳しくは、教育総務課まで☎497-2537

「清瀬の100冊」 読書感想文コンテスト表彰式

「清瀬の100冊」とは、数ある児童・生徒向け書籍から教育委員会と学校が選定した100冊のことです。ここから子供たちが読みたい本を選び、夏休みに書いた感想文から、20名(下表)が選ばれ、部門ごとの表彰と最優秀賞受賞者による受賞作品の発表が行われました。

(敬称略)

被表彰者	部門及び賞名	被表彰者	部門及び賞名
菅波 友統(清瀬第六小学校・2年)	小学校低学年の部 最優秀賞	横山 匡甫(清瀬第八小学校・5年)	小学校高学年の部 最優秀賞
阿部 零士(清瀬第八小学校・1年)	小学校低学年の部 優秀賞	本橋 実桜(清瀬第三小学校・6年)	小学校高学年の部 優秀賞
松田 芽衣子(清瀬第三小学校・2年)	小学校低学年の部 優良賞	吉村 衣晴(芝山小学校・5年)	小学校高学年の部 優良賞
真砂 瑠椰(清瀬第六小学校・2年)	小学校低学年の部 優良賞	岩崎 柚奈(清瀬第四小学校・6年)	小学校高学年の部 優良賞
山村 乙夏(清瀬第三小学校・1年)	小学校低学年の部 教育長賞	永野 珠里苑(清明小学校・6年)	小学校高学年の部 教育長賞
安達 月雫(清明小学校・4年)	小学校中学年の部 最優秀賞	又木 萌萌(清瀬第二中学校・1年)	中学校の部 最優秀賞
瀨下 真優奈(清瀬第八小学校・4年)	小学校中学年の部 優秀賞	高橋 匠(清瀬中学校・1年)	中学校の部 優秀賞
岡野 柚菜(清瀬第六小学校・3年)	小学校中学年の部 優良賞	板鼻 美空(清瀬第四中学校・2年)	中学校の部 優良賞
岸 希(清瀬第十小学校・4年)	小学校中学年の部 優良賞	梶 ひより(清瀬第五中学校・2年)	中学校の部 優良賞
菅波 友理香(清瀬第六小学校・4年)	小学校中学年の部 教育長賞	中野 瑞月(清瀬中学校・1年)	中学校の部 教育長賞

※詳しくは、指導課まで☎497-2552

秋から冬にかけて、生涯学習・スポーツ分野で 様々なイベントが開催されました。

第8回石田波郷俳句大会

平成28年10月30日(日)に第8回清瀬市石田波郷俳句大会が開催されました。午前中にジュニアの部(小学生の部・中学生の部)、一般の部(石田波郷賞・石田波郷新人賞)の表彰式・講評が行われ、午後は俳句会の「鷹」を主宰している小川軽舟氏の講演会が行われました。一般の部の石田波郷新人賞は、俳句の芥川賞とも言われるような非常に荣誉ある賞です。今大会では、ワシントンの日本語学校からの投句もあり注目度の増した大会となりました。ジュニアの部(小学生の部・中学生の部)の表彰作品を紹介します。

(敬称略)

ジュニアの部 (中学生の部)			ジュニアの部 (小学生の部)		
教育長賞	市長賞	大賞	教育長賞	市長賞	大賞
母と祖母味それぞれ 清瀬第二中学校 二年 山本 晴菜	雨蛙翔べないけれど 清瀬中学校 一年 富田 壮馬	逃水を蹴散らすよ 清瀬第二中学校 二年 鈴木 公平	なつのうみしまが 神津島村立神津小学校 六年 清水 颯太	てをつなぎみんなで 清瀬第十小学校 一年 林 陽那太	夏休みいっぱい 武蔵村山市第七小学校 三年 石山 ひまり



そば打ち体験の様子



中山道ウォーキングの様子

清瀬市・立科町友好交流都市促進事業

秋かおる!

信州ふるさと体験とウォーキングツアー

清瀬市と長野県立科町は、相互の友好関係を発展させることを目的とし「友好交流都市」を結んでおり、様々な事業を通じて交流を図っています。その一環として、「秋かおる! 信州ふるさと体験とウォーキングツアー」を平成28年10月15日(土)~16日(日)に1泊2日で開催しました。参加した市民の方からは「民間のツアーに引けをとらない内容だった」という感想もあり、充実した内容となりました。

【一日目】立科町交流促進センターこうふくかん 耕福館にて、そば打ち体験⇒立科第二牧場見学⇒女神湖散策・周遊⇒立科山荘宿泊

【二日目】立科町のイベント「中山道ウォーキング」に参加。(※中山道:江戸時代の五街道の一つで、江戸の日本橋と京都の三条大橋を内陸経路で結ぶ街道。)

多摩六都リレーマラソン2016

~思いをのせた襷たすきがつなぐ人とまち~

平成28年12月23日(金)に都立小金井公園にて、清瀬市・小平市・東村山市・東久留米市・西東京市の圏域五市でリレーマラソンが行われました。全体で139チーム1,211名、清瀬市からは13チーム110名が参加しました。チームの構成は家族や友人、職場の仲間と様々で、フルマラソンと同じ距離の全長42.195km、計23周を襷をつないで走りました。清瀬市からは、4人で挑んだ「清瀬二中



思いをのせた襷をつなぐランナーたち

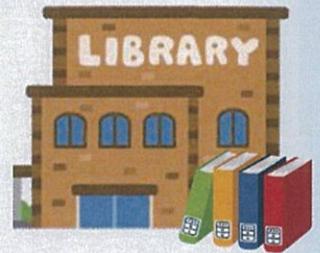
陸上部OB」チームが、2時間27分24秒

※詳しくは生涯学習スポーツ課まで ☎495-7001

市立図書館のコンピュータシステムが新しくなります

市立図書館では、資料の検索や貸出手続きのスピードを上げ、より多くの皆さまにご利用いただけるよう、平成29年度より新たなコンピュータシステムを採用することになりました。新たなシステムではホームページの読上げ機能と子供専用のページを追加する他、国立国会図書館による図書館向けデジタル化資料送信サービスに対応できる環境を整えていく予定です。

なお、この整備に伴い3月16日～3月30日の間は全館休館し図書館ホームページの閲覧も中止となります。



〈新システムに追加される機能〉

ホームページ音声読上げ機能

平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されました。市立図書館では、対面朗読や音訳図書の作製、宅配サービス等様々なハンディキャップサービスに取り組んでいます。

図書館のホームページにつきましても、視覚に障害のある方にご利用いただけるよう、音声読上げ機能、文字色の反転機能を追加します。



国立国会図書館デジタルコレクショントップ画面

国会図書館 デジタルコレクション



資料閲覧画面



国立国会図書館による図書館向け デジタル化資料送信サービス

図書館向けデジタル化資料送信サービスは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち絶版等の理由で入手が困難な資料を、全国の公共図書館、大学図書館等の館内で利用できるサービスです。

平成29年1月現在149万点の資料が利用可能になっており、リストは年に2回(1月と7月)更新されます。他の公立図書館では、図書は歴史・地理に関する資料の利用が多く、雑誌は明治期や大正期の雑誌、近代のものでは専門雑誌が利用されています。

図書館で借入不可の資料に加え、他の資料もパソコンを通じてその場で閲覧が可能になります。是非ご利用ください。

サービスの開始時期や閲覧の手続き方法については、別途ご案内いたします。

図書館職員によるおすすめ新刊

鴨川食堂おまかせ

ひさし
柏井 壽著 小学館

思い出の味を探します。誰しもあの時食べたあの味というものがあると思います。そんな思い出の味を探し、再現してくれる鴨川食堂の物語第4弾です。

板前の父と探偵の娘、トラ猫の「ひるね」がお迎えます。

[中央図書館所蔵]



生命科学の静かなる革命

福岡 伸一著 集英社インターナショナル

これまで25人のノーベル賞受賞者を輩出してきたロックフェラー大学。同校でかつて学んだ著者が、偉大な先人たちの業績をたどりながら、生命科学の道りを振り返ります。

[野塩図書館所蔵]

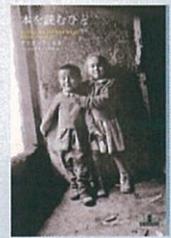


本を読むひと

アリス・フェルネ著 デュランテ
れっこ
クト・冽子訳 新潮社

パリ郊外に暮らすジプシーの大家族を、ある図書館員が訪ねてきます。本を読む喜びを伝えようと毎週通い、まず子供を、やがて父母を、最後に家長を変えていきます。本を読むことの大切さを教えてくれる小説です。

[駅前図書館所蔵]



※詳しくは中央図書館まで ☎493-4326

地域と共に見守る通学路

清瀬市では市立小中学校に通学路を設けています。

「通学路」とは、「各学校が、児童・生徒の通学の安全の確保と、教育的環境維持のために指定している道路」のことをいいます。

通学路の指定は校長が行い、教育委員会に報告します。通学路に指定された道路は、学校や地域からの要望があれば、道路管理者や警察、教育委員会等で協議が行われます。そのうえで児童・生徒の安全確保のため必要と判断されれば、「通学路標識」や「一時停止標識」などの交通安全上必要な整備が行われます。また、小学校の通学路については、児童が安全に通学できるように、定期的に「通学路安全点検」を行い、通学のための道路の改善を図っていきます。市では3年計画で市立小学校の通学路に防犯カメラの設置を行っています。平成27年度は八小、平成28年度は三小・七小・十小・清明小、平成29年度は清小・芝小・四小・六小に設置していきます。



地域で見守る通学路

清瀬市教育委員会では児童の安全の為、スクールガードリーダー（地域学校安全指導員）による、保護者への「学校巡回指導」も行っています。

「学校巡回指導」では、各小学校の通学路をスクールガードリーダーが保護者と共に巡回し、危険と思われる箇所の指摘やその対応策についての指導、また、児童の下校時の様子、学校施設の安全点検等についての指導を行っています。加えて、危険と思われる通学路には、シルバー人材センターを通じて地域の高齢者の方に登下校時の見守りを行っていただいています。

この他にも、各校による保護者の登下校時の通学路の見守りや巡回が行われており、地域の力で児童の安全の確保に努めています。

スクールガードリーダーより

清瀬市は、自然に恵まれたのどかな街です。雑木林や畑が散在し、廃屋や看守者のいない比較的大きな駐車場などが多数あります。また、入り組んだ小路が多く、カーブミラーが沢山設置されています。そんな環境の中に通学路があります。

不審者が現れたとしたら、犯罪に利用されそうな場所もあります。スクールガードの巡回チェックでは、同道の保護者の方々と共に危険箇所を発見し危険防止対策を考えています。しかし、危険防止対策と言っても通学する子供が自分で身を守ることが主となります。子供たちには「イカのおすし」の標語をしっかりと覚えさせ、不審者から身を守る方法を教えてください。とはいえ、実際のところ子供だけではなかなか難しいことです。地域ぐるみで事故や犯罪の起こらない環境を作らなければなりません。自分の子供だけでなく地域の子供たちも一緒に守ることができるようになればスクールガードの成果は上がると思います。

※「イカのおすし」

ついてイカない、車にらない、おお声を出す、すぐ逃げる、しらせるという防犯標語です。



清瀬市
スクールガードリーダー
城 勉 氏

教育委員会の動き

平成28年9月から平成29年2月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を8回開催しました。審議された議案は下記のとおりです。

- 事務の臨時代理の承認について
- 清瀬市文化財「清瀬病院跡地」の指定について
- 第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン基本構想について
- 平成28年度清瀬市教育委員会表彰について
- 清瀬市文化財保護審議会委員の選任について
- 清瀬市教育委員会事務局職員の標準的な職及び標準職務遂行能力を定める要綱について
- 清瀬市立小中学校管理職の配置について

※詳しくは教育総務課まで ☎497-2537

大会結果

第8回中学生「東京駅伝」



男子21位・女子30位・総合25位

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。